

研究協力のお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和大学病院における術前 3D シミュレーションを用いた膵臓周囲の血管走行の調査

1. 研究の対象および研究対象期間

2010年1月から2020年9月までに当院で膵臓の手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

膵臓の動脈に関しては現在までに多数の報告があり、膵臓を養う血管には様々な走行パターン知られています。膵臓の動脈解剖を十分に理解することは、膵の手術を行う外科医にとってはもちろん重要です。特に膵頭十二指腸切除術(PD)において、下膵十二指腸動脈(IPDA)の先行処理は術中出血量の減少につながることで報告され、近年多くの施設で流入血管先行処理によるPDが行われています。しかしながら、先行処理するIPDAは多彩な分岐形態を取ることが多く、術前にその走行を正確に把握することは安全に手術を行う上で有用です。当教室では術前に画像解析ワークステーション(SINAPSE VINCENT, FUJIFILM Medical社)を用いて3D画像を作成して術前の解剖の認識に応用しています。この3D画像を用いて膵臓周囲の血管走行の把握と実際の手術への影響に関して検討するため本研究を計画しました。

研究期間

「医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学病院 病院長の研究実施許可を得てから2025年3月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（年齢、性別、身長、体重、診断病名、入院日、手術日、退院日、入院期間、転帰、既往歴、現病歴、併用薬）、血液検査所見（血算、生化、凝固、腫瘍マーカー）、CT画像、手術所見（術式、手術時間、麻酔時間、出血量、輸血量、輸液量）術中ビデオ、病理検査所見、予後

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院（医学部外科学講座消化器・一般外科学部門） 研究責任者：柴田英貴

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8541